

# がん患者等への支援（がん患者等支援部会）

## ①相談支援及び情報提供

|            |   |
|------------|---|
| めざす姿       | <p>■最終目標<br/>すべてのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ることができ、その悩みや疑問が軽減している。</p> <p>■中間目標<br/>がん患者やその家族に必要な情報が届き、質の高い相談支援が受けられる体制が進んでいる。</p>  |
| 個別施策       | <ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援機能の強化</li> <li>患者目線での情報提供の充実</li> </ul>  |
| 令和元年度実績    | <p>令和元年7月10日（水）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>がん患者・家族への相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC）</li> <li>拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施（6/6）</li> </ul> </li> <li>がん患者・家族への情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント（JIL-フォーラム）が「奈良,9/28-29）会場での情報発信</li> </ul> </li> <li>ライフステージ等に依じた相談体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>がん相談支援センター・保健所相談員等研修会の実施<br/>→<b>新型コロナウイルス拡大防止のため中止</b></li> <li>小児がん患者の家族等交流会</li> </ul> </li> <li><b>新</b>4. がんピアサポーター支援活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>がんピアサポーター養成研修の実施</li> </ul> </li> </ol> |
| 令和2年度計画（案） | <ol style="list-style-type: none"> <li>がん患者・家族への相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC）</li> <li>拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施</li> </ul> </li> <li>がん患者・家族への情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント（JIL-フォーラム）が「奈良,10/3-10/4）会場での情報発信</li> </ul> </li> <li>ライフステージ等に依じた相談体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>がん相談支援センター・保健所相談員等研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>小児がん患者の家族等交流会）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>がんピアサポーター支援活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>がんピアサポーターフォローアップ研修の実施</li> </ul> </li> </ol>                  |

## 第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

- 基準値と比較して改善していない
- 基準値と比較して改善している

### 3. がん患者等への支援 (1) 相談支援及び情報提供

| 分野   | 分類別目標                                | 指標                                  | 現状値<br>(基準値)               | H30年度                      | R15年度            | 目標値              | 出典             |                 |                  |
|------|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------|------------------|----------------|-----------------|------------------|
|      |                                      |                                     |                            |                            |                  |                  |                | (1) 相談支援及び情報提供  |                  |
| 最終目標 | がん患者の不安や悩みの発生が軽減されている                | がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている               | がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている      | 36.4%<br>(H29)             | -                | -                | 増加             | からのがんに関する患者意識調査 |                  |
|      | がん患者やその家族等が、質の高い相談支援が受けられる体制ができてきている | がん相談支援センターの利用率が向上している               | がん相談支援センターの利用率が向上している      | 32.3%<br>(H29)             | -                | -                | 増加             | からのがんに関する患者意識調査 |                  |
| 中間評価 | 相談支援機能の強化                            | がんに関する情報が得やすい体制ができていない              | がんに関する情報が得やすい体制ができていない     | がんに関する情報が得やすい体制ができていない     | 29.4%<br>(H29)   | -                | -              | 減少              | からのがんに関する患者意識調査  |
|      |                                      | がん患者やその家族等が、質の高い相談支援が受けられる体制ができていない | がん相談支援センターの利用率が向上している      | がん相談支援センターの利用率が向上している      | 100%<br>(H29)    | 98.1%<br>(H29)   | 98.0%<br>(H30) | 現状維持            | がん相談支援センター利用状況調査 |
|      |                                      | がん相談支援センターの利用率が向上している               | 相談支援センターの利用率               | 相談支援センターの利用率               | 51.8%<br>(H29)   | -                | -              | 増加              | 奈良県調べ            |
|      |                                      | 国立がん研究センター研修【指導者研修】を受け相談員数          | 国立がん研究センター研修【指導者研修】を受け相談員数 | 国立がん研究センター研修【指導者研修】を受け相談員数 | 12人<br>(H25-29)  | 研修会の実施なし         | 受講なし           | 増加              | 奈良県調べ            |
|      |                                      | 県内相談員対象の研修会の開催回数                    | 県内相談員対象の研修会の開催回数           | 県内相談員対象の研修会の開催回数           | 1回<br>(H29)      | 1回<br>(H30)      | 開催中止<br>(R1)   | 増加              | 奈良県調べ            |
|      |                                      | がん患者サロンの利用者数                        | がん患者サロンの利用者数               | がん患者サロンの利用者数               | 801人<br>(H29)    | 760人<br>(H29)    | 867人<br>(H30)  | 増加              | 奈良県調べ            |
|      |                                      | がん患者サロンの認知度                         | がん患者サロンの認知度                | がん患者サロンの認知度                | 50.2%<br>(H29)   | -                | -              | 増加              | からのがんに関する患者意識調査  |
|      |                                      | がん患者サロン運営会議の開催回数(各拠点病院)             | がん患者サロン運営会議の開催回数(各拠点病院)    | がん患者サロン運営会議の開催回数(各拠点病院)    | 8回<br>(H29)      | 7回<br>(H29)      | 6回<br>(H30)    | 実施継続            | 奈良県調べ            |
|      |                                      | がん患者サロン運営者会議の開催回数                   | がん患者サロン運営者会議の開催回数          | がん患者サロン運営者会議の開催回数          | 2回<br>(H29)      | 1回<br>(H30)      | 1回<br>(R1)     | 実施継続            | 奈良県調べ            |
|      |                                      | ピア・サポーター養成数                         | ピア・サポーター養成数                | ピア・サポーター養成数                | 48人<br>(H29)     | -                | 17人<br>(R1)    | 増加              | からのがんに関する患者意識調査  |
|      |                                      | 「がんネットから」の認知度                       | 「がんネットから」の認知度              | 「がんネットから」の認知度              | 11.3%<br>(H29)   | -                | -              | 増加              | からのがんに関する患者意識調査  |
|      |                                      | 「がんネットから」のページビュー数                   | 「がんネットから」のページビュー数          | 「がんネットから」のページビュー数          | 69,241件<br>(H29) | 80,721件<br>(H29) | -              | 増加              | 奈良県調べ            |

## ■保健所がん患者サロン 令和元年度実績

### ●目的

- ・がん体験者同士が体験や感情を共有することによるサポートは、がん患者やその家族にとって大きな支えになることから、がん患者やその家族が相互に交流・情報交換することを目的にがん患者サロンを実施する。

### ●対象

県内に居住するがん患者及びその家族等

### ●内容

| 実施機関     | 日 時                          | 内 容   | 参加者数       |
|----------|------------------------------|---|------------|
| 中和保健所    | 令和元年6月29日（土）<br>13:30～16:00  | ■講演会「がん医療における『笑い』をカガクする」<br>講師：大阪国際がんセンター<br>がん対策センター所長 宮代 勲氏<br>甲南大学知能情報学部教授 灘本 明代氏        | 講演会<br>26人 |
|          | 令和2年1月25日（土）<br>14:00～16:00  | ■交流会  | 交流会<br>24人 |
| 郡山保健所    | 令和元年7月30日（火）<br>13:30～15:50  | ■講演会「つながらう！ 乗り越えよう！<br>～安心して療養生活を送れるために～」<br>講師：天理よろづ相談所病院<br>がん相談支援センター緩和ケア認定看護師<br>松尾 理代氏 | 講演会<br>9人  |
|          | 令和元年10月30日（水）<br>13:30～15:50 | ■交流会  | 交流会<br>11人 |
| 吉野保健所    | 令和元年7月12日（金）<br>13:30～16:00  | ■交流会  | 交流会<br>5人  |
|          | 令和元年12月13日（金）<br>13:30～16:00 | ■講演会「笑って元気に一病息災<br>～心身にもたす笑いの効果～」<br>講師：吉野病院 院長 福岡 篤彦先生                                     | 講演会<br>13人 |
| がん患者サロン等 |                              |   | 交流会<br>9人  |

## ■小児がん患者の家族等交流会

### ●趣旨

・日本では年間に2,000～2,500人、奈良県では約20人（15歳未満）が新たにがんと診断されている。

- ・「がん」は、日本人の死亡原因の第1位であり、5歳以上のこどもの病死原因の第1位である。
- ・小児がん患者は、病気が治癒した後も、治療の副作用や病気の影響が後々まで残るなどの晩期合併症で、長期のフォローアップが必要になることもある。
- ・平成28年度に実施した小児慢性特定疾病医療費受給者の保護者を対象とした調査では、情報や相談場所、患者や親同士の交流の場を希望している方が多いことがわかった。
- ・これらより、小児がん患者の家族等が、がんの現状や晩期合併症について学ぶとともに、同じような経験を持つ人と交流を持つことで、抱える問題の解決の糸口を見つけたり、問題との向き合い方に気づくことを目的として交流会を実施する。

### ●対象

県内在住の小児がん患者の家族等

### ●内容

| 日時                          | 内容  | 参加者                |
|-----------------------------|---|--------------------|
| 令和2年1月19日（日）<br>14:00～16:30 | ●講演「小児・AYA世代のがん<br>—特徴・課題・対策—」<br>講師 大阪国際がんセンター<br>がん対策センター 政策情報部<br>副部長 中田 佳世氏<br>座長 奈良県立医科大学附属病院小児科<br>助教 石原 卓 氏<br>●質疑応答 | 講演会：17人<br>交流会：13人 |
|                             | ●交流会<br>司会 がんの子どもを守る会 大阪事務所<br>ケースローカー 恩田 聡美 氏  |                    |

### ●概要

<講演会について>

- ・講演会では、地域がん登録データから見える小児・AYA世代のがんの罹患の種類や推移等の特徴や、5年生存率等をわかりやすく説明された。
- ・また、小児・AYA世代のがん患者の課題として、晩期合併症、妊孕性の問題、治療や就労など、多様なニーズへの対応が、治療中、治療後も必要となり、長期的にライフステージ毎に相談支援や社会支援の充実が必要であることが分かった。

<交流会について>

- ・本人や周囲（学校や友人等）への病気の伝え方、兄弟への心のケア等のフォロー、再発への不安などが話題になった。
- ・参加者アンケートでは、交流会について「よかった」が大半で、今後も継続してほしいとの意見が多くあった反面、希少がんの参加者については、同じ病気の方との交流ができず、参考にならないといったご意見もあった。
- ・次年度も継続して、疾病対策課で実施予定



■がんピアサポーター養成研修会

●目的

がん体験者によるピアサポートは、がん患者や家族に対して、同じ立場で心の悩みや体験に基づきサポートを行えることから、第3期奈良県がん対策推進計画（平成30年3月策定）において、「ピア・サポート活動の活性化」を推進するため、令和5年度末までにがんピア・サポーター数を増加することを目標としている。

これを受けて、ピアサポートを行える人材を育成し、本県におけるがん医療に関する相談支援体制を強化し、患者及び家族の療養生活の質の維持向上を図ることを目的に奈良県がんピアサポーター養成研修会を開催する。

●対象

奈良県在住のがん体験者およびその家族・遺族で、自分の経験を活かしてピア（仲間）として、がん患者やその家族等を支援する意志のある方（20名程度）

●内容

◆1日目（令和2年1月25日（土））

| 開始    | 終了    | 内容   | 担当   |
|-------|-------|--|--|
| 9:30  | 9:40  | 開会の挨拶<br>オリエンテーション   | 挨拶：奈良県疾病対策課<br>オリエンテーション：事務局                                   |
| 9:40  | 10:00 | 奈良県のがん対策について   | 奈良県疾病対策課   |
| 10:00 | 10:20 | がん相談支援センターの活動について  | 奈良県立医科大学附属病院<br>がん相談支援センター<br>川本 だか子 氏                         |
| 10:25 | 10:55 | ピア・サポートってなに？   | NPO法人ええ合う会「α」<br>副理事長 野田 真由美 氏                                 |
| 11:00 | 12:00 | ピアサポーターの役割と活動指針<br>(ア) ピアサポートを行うこと<br>(イ) 守るべきこと<br>(ウ) 相手を大切にすること、自分を大切にすること<br>(エ) ピアサポーターが知っておくと良い情報<br>(オ) 活動を振り返り、報告する<br><記録やヒアレビュー> | NPO法人ええ合う会「α」<br>副理事長 野田 真由美 氏                                 |
| 13:00 | 14:50 | 自己の体験を語る   | NPO法人ええ合う会「α」<br>副理事長 野田 真由美 氏                                 |
| 14:55 | 16:35 | がん診療の基礎知識と情報提供の注意点<br>(がん情報サイトと結び付けて)  | 北里大学医学部<br>新世紀医療開発センター<br>機能的医療領域開発部門<br>臨床腫瘍学<br>教授 佐々木 治一郎 氏 |
| 16:35 | 16:40 | 一日のまとめ（質疑応答）   | 事務局  |

◆2日目（令和2年1月26日（日））

| 開始時間  | 終了時間  | 内容                               | 担当                                       |
|-------|-------|----------------------------------|--|
| 9:30  | 9:35  | オリエンテーション                        | 事務局                                      |
| 9:35  | 10:35 | 「よりよいコミュニケーションのために」              | 専ら阪大大学院期大学部<br>介護福祉学科<br>教授 榊川 一 氏       |
| 10:40 | 12:40 | ロールプレイのオリエンテーション<br>ロールプレイ（4人一組） | 全体進行：野田 真由美 氏<br>ロールプレイ                  |
| 13:40 | 14:40 | グループワークシートのために<br><がんサロソ編の内容>    | NPO法人ええ合う会「α」<br>副理事長 野田 真由美 氏           |
| 14:45 | 15:35 | 緩和ケアについて                         | 奈良県立医科大学附属病院<br>緩和ケアセンター<br>病院教授 四宮 敬章 氏 |
| 15:35 | 15:55 | 1日のまとめ / 質疑応答 / 講評               | 奈良県立医科大学附属病院<br>緩和ケアセンター<br>病院教授 四宮 敬章 氏 |
| 15:55 | 16:25 | 受講修了証の授与                         | 奈良県疾病対策課                                 |
| 16:25 | 16:35 | まとめ 閉会あいさつ                       | 奈良県疾病対策課                                 |

●修了者数：17名

●研修会アンケートまとめ

(1) 講義内容について

|   | 理解できた | どちらともいえない | あまり理解できなかった |
|---|-------|-----------|-------------|
| ① 奈良県のがん対策について                          | 14    | 3         | 0           |
| ② がん相談支援センターの活動について                     | 15    | 2         | 0           |
| ③ ピアサポートってなに？                           | 16    | 1         | 0           |
| ④ ピアサポーターの役割と活動指針                       | 16    | 1         | 0           |
| ⑤ 自己の体験を語る                              | 11    | 6         | 0           |
| ⑥ がん診療の基礎知識と情報提供の注意点<br>(がん情報サイトと結び付けて) | 13    | 4         | 0           |
| ⑦ よりよいコミュニケーションのために                     | 17    | 0         | 0           |
| ⑧ ロールプレイ                                | 14    | 3         | 0           |
| ⑨ グループワークシートのために<br><がんサロソ編の内容>         | 17    | 0         | 0           |
| ⑩ 緩和ケアについて                              | 17    | 0         | 0           |

<ご意見等>

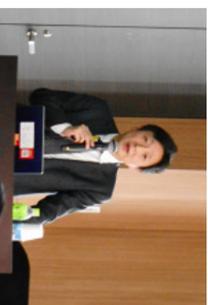
- 奈良県のがん対策の取組が分かりやすく、県民のがん患者以外にもがんになっ ていない人にも広く伝えたい。
- 奈良県のがん相談支援センターは充実していると思った気持ちよく向かい入れてくれて、やさしく、力強く接してもらっています。感謝しています。
- 何となくの理解だったピアサポーターの役割がきちんと学べて良かったです。
- ピアサポートには客観性がいかに大切かよくわかった。ピアサポートの役割の重要性を強く感じた。皆さまの体験談を聞く貴重なお時間でした。3分は短く一人一人納得いくまでお話しされても良かったのでは？
- 佐々木先生の話は今後活動するにあたって現状のがん治療について話が聞けてよかったです。
- コミュニケーションの難しさを改めて確信した。
- （ロールプレイは）とても難しく言葉が出なくなりましたが、同じ班の方の意見がとても勉強になりました。
- （緩和ケアについて）如何に見送られ、又見送るのか、今の私の大きな課題に気がされました。

(2) 今後、研修に取り入れた方がよい内容について

- フラシリテーターとして心得など。がんについての専門知識。
- 多くの情報を得られる。すぐれたカリキュラム編成でした。講義などを担当された先生方も素晴らしいかったです。
- がん、色んながんについて、基礎知識（がんのさまざまな種類や治療方法）とコミュニケーション技術。今回の研修後のフォローも詳しくお願いしたいです。
- 高齢者のがん治療と緩和について教えて頂きたい。単身者が自宅で治療を受ける場合、どうしていらっしやるのか経験者の方のお声を伺いたい。「死」との向き合う事が多くなります。ダウンリゼット健康な方も含めて話し合える場がほしいものです。

(3) その他、研修全体に関してご意見・ご要望など

- 実践的な研修が多くて、ハードルが高かったですが、一瞬も居眠りする暇が無いほどでした。ロールプレイなど、とても難しく、でも他の研修受講者と色々お話しするきっかけにもなり、貴重な体験でした。
- ハードルが高いと思っていたが、申し込みして良かった。もっと若い人達が参加しやすいようにしてほしい。サロンでも若い人は少ないと聞いていたので、参加しやすい環境づくりがされたらいいなあと感じました。
- 家族の立場と、当事者の立場の違いが深く思えて、どうしても一歩引いてしまいました。当事者が、家族の話を書くことは出来ても、家族が当事者の話を聞くのは難しいと思います。可能であれば、当事者と家族と別に講座を受けさせてもらえたら良かったな・・・と思いました。AYA世代も増えている今、世代をもう一つ若年世代で区切る講座があっても嬉しいです。



## ②がん患者の就労を含めた社会的な問題

|            |   |
|------------|---|
| めざす姿       | <p>■<b>最終目標</b><br/>がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。</p> <p>■<b>中間目標</b><br/>県民や事業者のがんやがん患者に対する理解や支援が進んでいる。</p>   |
| 個別施策       | <ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実</li> <li>がん患者の治療と仕事の両立体制の整備</li> <li>就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実</li> </ul>   |
| 令和元年度取組    | <p>令和元年7月10日（水）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>がん患者への就労相談支援事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者向け研修会での周知（奈良県のがん対策、就労支援の取組について）</li> <li>就労支援関係者の情報交換会の実施（R2.3.5開催予定）<br/>→<b>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止</b></li> <li>職場環境調査の実施 →<b>令和元年度職場環境調査を実施</b> *現在、集計中</li> <li>労働時報（8月号）（雇用政策課所管）、<b>県民だより奈良（2月号）</b>での情報提供</li> <li>奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業での「がんネットなら」での好事例の掲載 →<b>未実施</b></li> </ul> </li> <li>国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組             <ul style="list-style-type: none"> <li>○奈良労働局                 <ul style="list-style-type: none"> <li>長期療養者就職支援事業（ハローワーク大和高田、奈良県立医科大学附属病院出張相談）</li> <li>治療と仕事の両立支援に関するガイドラインの周知</li> <li>○奈良産業保健総合支援センター                     <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者や患者（労働者）からの両立支援に関する相談及び個別調整支援</li> <li>事業主や産業保健関係者向け研修会の実施</li> <li>両立支援対策の普及促進のための個別訪問支援</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ol> |
| 令和2年度計画（案） | <ol style="list-style-type: none"> <li>がん患者への就労相談支援事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者向け研修会での周知（奈良県のがん対策、就労支援の取組について）</li> <li>就労支援関係者の情報交換会の実施</li> <li>労働時報（雇用政策課所管）での情報提供</li> <li>奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業での「がんネットなら」での好事例の掲載</li> </ul> </li> <li>国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組             <ul style="list-style-type: none"> <li>○奈良労働局                 <ul style="list-style-type: none"> <li>長期療養者就職支援事業</li> <li>ハローワーク大和高田；奈良県立医科大学附属病院出張相談</li> <li><b>ハローワーク奈良；奈良県総合医療センター出張相談</b></li> </ul> </li> <li>治療と仕事の両立支援に関するガイドラインの周知</li> <li>奈良産業保健総合支援センター                 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者や患者（労働者）からの両立支援に関する相談及び個別調整支援</li> <li>事業主や産業保健関係者向け研修会の実施</li> <li>両立支援対策の普及促進のための個別訪問支援</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>   |

## 第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

■ 基準値と比較して改善していない  
■ 基準値と比較して改善している

### 3. がん患者等への支援 (2)がん患者の就労を含めた社会的な問題

| 分野                           | 分類別目標   | 指標  | 現状値              | H30年度             | R元年度             | 目標値   | 出典              |
|------------------------------|---|---|------------------|-------------------|------------------|-------|-----------------|
|                              |   |   | (基準値)            |                   |                  |       |                 |
| <b>3 がん患者等への支援</b>           |   |   |                  |                   |                  |       |                 |
| <b>(2) がん患者の就労を含めた社会的な問題</b> |   |   |                  |                   |                  |       |                 |
| 最終目標                         | がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立について不安が軽減され、がん患者が働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる | がんの治療を受けながら、働き続けられる環境だと思うがんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に對する事業主の理解・支援が受けられた | 29.1%<br>(H29)   | -                 | -                | 増加    | ならのがんに関する患者意識調査 |
| 中間評価                         | 事業所に医療機関、県、国（労働局等）の有機的な連携が一層推進している                                      | 仕事と治療の両立支援体制のある事業所の割合   | 75.3%<br>(H28)   | -                 | -                | 増加    | 職場環境調査          |
|                              | がん患者に仕事と治療の両立について必要な情報を提供できている  | がんをめぐって治療・療養したとき、一定期間（連続して3か月以上）仕事を休み、復職、復帰した                       | 37.9%<br>(H29)   | -                 | -                | 増加    | ならのがんに関する患者意識調査 |
|                              |   | 就労相談の実施回数、利用者数  | 27回/40人<br>(H28) | 32回/42人<br>(H29)  | 27回/50人<br>(H30) | 増加    |                 |
|                              |   | 情報交換会の実施回数  | 1回<br>(H29)      | 未実施               | 開催中止<br>(R1)     | 継続実施  | 奈良県側へ           |
|                              |   | 医療従事者の研修会実施回数（拠点病院で実施）  | 1回<br>(H28)      | 2回<br>(H29)       | 1回<br>(H30)      | 増加    |                 |
|                              |   | リーフレットの配布前数（就労支援相談窓口）   | -                | 7,000部作成<br>(H30) | 6,000部配布<br>(R1) | 増加    |                 |
|                              | がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実  | 就労相談窓口の認知度  | 10.8%<br>(H29)   | -                 | -                | 増加    | ならのがんに関する患者意識調査 |
|                              |   | 就職相談窓口の認知度  | 7.4%<br>(H29)    | -                 | -                | 増加    |                 |
|                              |   | 就職相談の実施回数、利用者数  | 27回/40人<br>(H28) | 32回/42人<br>(H29)  | 27回/50人<br>(H30) | 増加    | 奈良県側へ           |
|                              | がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備  | 職場環境調査の実施結果の公表  | H25、H28<br>公表済み  | -                 | R1調査済<br>集計中     | 実施、公表 | -               |
|                              | 就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実   | 「奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業」のがん治療と仕事の両立支援企業登録数                             | 3件<br>(H28)      | 6件<br>(H30)       | 5件<br>(R1)       | 増加    | 奈良県側へ           |
|                              |   | 情報発信した好事例の企業数   | -                | 未実施               | 未実施              | 増加    |                 |

■がん患者への就労相談支援事業 事業者向け研修会での周知

- 目的  
県内の事業者に向け、がん患者等の現状を伝え、各就労相談機関の周知をすることで、事業者の両立支援体制の促進を図る。

| 内容  | 日時                          | 参加者数         |
|---|-----------------------------|--------------|
| 「社会保険事務講習会」で周知<br>(協会けんぽ奈良支部との協働)                             |                             |              |
| 1. メンタルヘルス対策等セミナー<br>(奈良労働局 健康安全課)                            | 令和元年9月18日(水)<br>13:00~16:30 | 51名<br>(50社) |
| 2. 職場環境改善のためのヒート集<br>メンタルヘルスマタシヨソチエツクリスト                      |                             |              |
| 3. がん患者が働きやすい職場をめざして<br>～奈良県のがん対策・就労支援の取組について～<br>(奈良県 疾病対策課) | 令和元年9月20日(木)<br>13:00~16:30 | 52名<br>(48社) |
| 4. 協会けんぽ奈良支部からのお知らせ   |                             |              |
| 5. 高齢年金ガイド(平成31年度版)<br>年金生活者支援給付金請求手続きのご案内(厚生労働省)             |                             |              |

- 概要  
県内事業所を対象とした「社会保険事務講習会」(協会けんぽ奈良支部主催)にて、奈良県におけるがん患者等に対する就労支援、両立支援の取組について情報提供を行った。  
今後他機関と連携し、事業者に向け、がん患者等への理解の醸成を図るとともに、就労支援の取組や相談窓口等を積極的に周知する機会をもち、事業者の両立支援体制を促進していく。

■県民だより奈良(2月号)

働く世代の  
あなたへ  
**がん**と診断されても、  
治療と仕事の両立をあきらめないで!

**治療と仕事を両立している方はたくさんいます!**

日本人の2人に1人がかかるといわれている身近な病気、「がん」。平成28年に県内で11,370人が新たにがんと診断されており、そのうち約40%が働く世代です。治療と仕事の両立をあきらめることなく、まずは一度立ち止まって考えてみてください。



step 1 情報を集めましょう。

- 1 主治医から治療に関する情報を得ましょう
  - 2 会社員として持っている権利を知りましょう
  - 3 利用できる制度を会社側と確認しましょう
- ▶ 就業規則はどうなっているだろうか?
  - ▶ 仕事を辞めると失ってしまう権利がないかの確認も忘れずに!
  - ▶ 高額療養費制度
  - ▶ 傷病手当金 など

step 2 他の患者さんの経験や工夫を知ることも力になります。

- 下記HPから情報を得ることができます。
- がんネットなら(奈良県がん情報提供ポータルサイト)
  - 国立がん研究センターがん情報サービス
  - がんと共に働く知る・伝える・動かせ!

step 3 会社と相談してみましょう。

- 病気を伝える時は、次のような情報を伝え、確認しましょう。
- ▶ 現在の状態、当面の治療スケジュール
  - ▶ 仕事に関するご自身の希望
  - ▶ 会社で利用可能な福利厚生制度

**仕事や治療のことを相談できる窓口があります。相談無料**

県内のがん相談支援センター

治療のスケジュールに合わせた働き方など、仕事を続ける上での工夫について、どなたでも相談することが出来ます(療養生活のことなども相談可)。

|              |               |
|--------------|---------------|
| 奈良県立医科大学附属病院 | ☎0744-22-3051 |
| 奈良県総合医療センター  | ☎0742-46-6001 |
| 天理よろづ相談所病院   | ☎0743-63-5611 |
| 近畿大学奈良病院     | ☎0743-77-0880 |
| 市立奈良病院       | ☎0742-24-1251 |
| 南奈良総合医療センター  | ☎0747-54-5000 |
| 国保中央病院       | ☎0744-32-8800 |
| 済生会中和病院      | ☎0744-43-5001 |
| 大和高田市立病院     | ☎0745-53-2901 |

奈良産業保健総合支援センター

☎0742-25-3100 要予約

治療を受けながら安心して働き続けるため、両立相談員が相談にのっています。

長期療養者職業相談窓口

がん患者など長期療養者の希望や治療状況などをふまえた職業相談・紹介を行っています。就職後の職場定着支援も実施。

|                         |                  |               |
|-------------------------|------------------|---------------|
| ハローワーク奈良                | 4月から開始           | ☎0742-36-1601 |
| 奈良県総合医療センターへの出張相談       | は2月から開始。         |               |
| がん相談支援センター              | ☎0742-46-6001(代) | 要予約           |
| ハローワーク大和高田              | ☎0745-52-5801    |               |
| 奈良県立医科大学附属病院への出張相談も実施中。 |                  |               |
| がん相談支援センター              | ☎0744-22-3051(代) | 要予約           |

奈良県疾病対策課 ☎0742-27-8928 0742-27-8262